



広報いわむろの 最終号発刊にあたり

岩室村長 坂爪 悠一郎

明治以降百十余年、たゆみなく発展し続けてきた岩室村。その岩室村が今月二十一日の新潟市との合併により閉村となりますことから、昭和三十七年の発行開始以来四十三年間の長きにわたり村の情報を村民の皆さんにお届けしてきました「広報いわむろ」も、この三月号（通算第五百十五号）をもってその幕を閉じることとなりました。

この「広報いわむろ」が発行を開始した昭和三十七年は、岩室村が昭和三十年に間瀬村との合併を経て、昭和三十五年に和納村との合併を成し遂げ、現在の岩室村の姿が出来てまもなくの時でありました。

時期的には戦後の混乱もようやく落ち着き、経済的基盤の回復とともに自治の形も整い、村民の皆さんに行政から分かりやすい情報を提供することによって、円滑な業務の執行に資するとともに、地域からの意見を反映する村政の展開を目的としたものと聞いております。以来その時々々の行政課題、地域の出来事、情報の公開、村民の声などを掲載し、行政と村民との情報の架け橋として大きな役割を果たしたと思っております。

このたび時代の趨勢から新潟市との合併という歴史的転機を選択したことにより、今後は新潟市からの広報が皆さんに届けられることとなっておりますが、岩室地域に関係する情報については地域版としての情報提供が行われることとなっております。

合併により岩室村という名称が消え、「広報いわむろ」が無くなることは哀惜の情を禁じ得ないものがありますが、少子高齢化の進行が著しいこれからの地方分権の時代に対応できる地域づくりが、大きな目的であることを忘れることなく明日に夢と希望を託したいと思います。

村民の皆さんには、「広報いわむろ」を長期間にわたりご愛読いただきましたことを感謝申し上げますとともに、行政と一万村民が心をひとつにして今日まで地域の発展に尽力いただきましたことを有り難く御礼申し上げます。

終わりに、長い間広報誌の編集に携わっていただいた関係者の皆さんの努力に敬意を表しますとともに、村民各位のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。「広報いわむろ」最終号のあいさつとさせていただきます。